

一生勉強、一生青春
—仕事の喜び、働く意義を考える—

東京都立練馬高等学校1年生講演資料

2018年1月24日(水)

11:45~12:35

株式会社 開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 林さんは、これまで、どのような仕事や活動を行っていますか。

A : いろいろあります。

- (1) ①開倫塾塾長
②株式会社開倫塾代表取締役社長
③開倫ユネスコ協会会長
④開倫塾日本語学校理事長
- (2) ①マニー株式会社（手術用縫合針製造）社外取締役（2004～2010年）
本社：宇都宮市、現地法人：ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン
②社会福祉法人両崖福祉会特別養護老人ホーム清明苑監事（足利市）
③学校法人有朋学園有朋高等学院理事長（福島市）
④宇都宮大学大学院工学研究科客員教授
- (3) ①栃木県生産性本部理事、サービス産業活性化・生産性向上委員会委員長
②公益社団法人経済同友会幹事（東京）
③公益社団法人栃木県経済同友会幹事
④公益財団法人文字・活字文化推進機構評議員

Q 2 : そのような仕事や社会的活動の経験を踏まえ、仕事とは何だと考えますか。

A : (1)すべての仕事には「お客様」がいます。

(2)仕事とは、「お客様の問題や課題を解決する」ことで、「お客様のお役に立つこと」だと考えます。

(3)同じような問題や課題をかかえている人が世の中にはいます。そこで、仕事とは、お客様の問題や課題を解決することで、「世の中のお役に立つこと」でもあると考えます。

Q 3 : 働く意義、歓びとは何ですか。

A : (1)「仕事を通して、お客様の問題や課題を解決する」ことで、「お客様や社会のお役に立つこと」です。

(2)「生活できるだけの収入を得ること」でもあります。

(3)仕事は「自己実現」、「よく生きる」ことにもつながります。

Q 4 : 仕事をしていて大変なこと、必要なこととは何ですか。

A : (1)急激に変化し続ける時代に対応した、製品やサービスを提供し続け、お客様の期待にお応えすることです。

(2)国内外の競争相手との激しい競争に打ち勝つ「競争力」を絶えず高め続けることです。

①「製品やサービス (Product)」が、「顧客の問題解決」になっているか。

②「価格 (Price)」が「買いやすい」かどうか。

③「場所 (Place)」が「便利」かどうか。

④「広告宣伝 (Promotion)」が、「顧客とのコミュニケーション」となっているか。

(3)チームが一丸となって「目的・目標達成を目指し、学習をし続ける」ことです。

①「目的」とは「ゴール」「到着点」

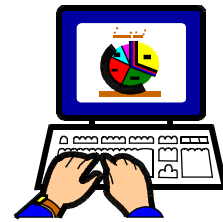
②「目標」とは「ゴールに至るマイルストーン、一里塚」

③目的・目標をチームで共有し、様々な「情報を共有」し「学び合う」、「学習する組織」を目指すこと。

Q5：ところで、現代とはどのような社会ですか。そこで求められるのは、どのような能力とお考えですか。

A：(1) 現代は「知識基盤社会」

- ①求められるのは、「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」
- ② PC は必須
- ③数学、論理的・分析的思考能力も必須



(2) 現代は「グローバル社会」

- ①求められるのは、「多様な集団で交流する能力」
- ②英語は必須
- ③言語、地理、歴史、法律・経済、宗教、思想、伝統文化、民芸などを含め、多様な価値観の存在に対する寛容性

(3) 現代は「課題山積社会」

- ①求められるのは、「課題発見能力」「課題解決能力」
- ②この世の中をどうにかしたいという「高い志」
- ③「自律的に活動する能力」



Q6：社会に出るにあたり、高校時代に身に付けておいたほうがよいことはありますか。

A：(1) 高校で学ぶすべての教科のすべての内容は、高校卒業後に進学する大学や短期大学、専門学校、専修学校など高等教育機関や、すべての職場、社会的活動で役に立ちます。よく生きるうえで、生涯にわたり役に立ちます。一生役に立つのが、高校での全教科の勉強です。

(2) よく考えれば、人の一生の中で、高校 1 年生の勉強は高校 1 年生でしか学ぶことができません。学ぶべき時に、全教科のすべての内容をしっかりと学び、復習や定期試験を通してしっかりと身に付けてくださいね。

(3) 高校の教科書、教材、ノート、辞書などは、高校を卒業しても決して処分することなく、大切に保存し、折に触れて繰り返し学び直し、一生を過ごしてください。教養とは何かと問われれば、高校時代の各教科の学習内容を繰り返し学び直し、より深い理解を得る営みといえます。

(4) 高校時代の学校行事や教科外の教育活動、スポーツや芸術活動、課外活動、生徒会活動、学級会活動なども、一生役に立ちます。日本の教育の大きな特色です。しっかりと取り組んでくださいね。

Q7：そのほかにありますか。

A：あります、山ほどあります。

(1) 「学習の仕方」「勉強の仕方」です。

- ①予習の仕方（辞書の使い方）
- ②授業の受け方
- ③ノートの取り方
- ④復習の仕方（参考書の使い方）
- ⑤定着の仕方（音読、書き取り、問題練習の仕方）



⑥試験勉強の仕方(定期試験、実力試験、入学試験、資格試験)

⑦社会での用い方

⑧図書館、美術館、博物館など社会教育施設の用い方

(2)新聞を毎日読み、自分で考える力、批判的思考能力を身に着けること。

「スクラップブック」を作り活用すること。

(3)読書をし、思慮深さを身に着けること。これぞという本は、じっくりと6回読むこと。

「書き抜き読書ノート」を作成すること。

(4)「5S」(ごえす)を身に着けること。

①「整理 (seiri)」 いらぬものは捨てる

②「清掃 (seisou)」 きれいに掃除をする

③「整頓 (seiton)」 物は同じ場所に置く

④「清潔 (seiketsu)」 ①～③を継続する

⑤「躰 (shitsuke)」 自分から進んで行く

(5)高校生は、別の意味の「躰」も身に着けよう。

①「美しい立ち居振る舞い」

②「美しいことば遣い」(敬語表現を含むことば遣い)



Q 8 : 最後に、好きなことばがあれば紹介してください。

A : たくさんあります。

(1)「練習で泣いて試合で笑え」

(2)「ブルドッグ魂 (食いついたら離すな)」

(3)「一所懸命 (一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組もう)」

(4)「スポーツの3つの宝」(小泉信三)

①「練習は不可能を可能にする」

②「フェアプレー」

③「よき友」

(5)「初心忘れるべからず」(世阿弥)

(6)「離見の見 (りけんのかん)、(舞台上で踊っている自分の姿を、舞台から離れた観客席から見る)」(世阿弥)

(7)「会った人は皆友達」(石川洋)

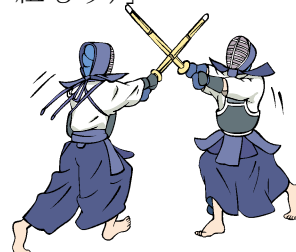
(8)「目には遠いが心は近い」(インドのことわざ)

(9)「持続する志」(大江健三郎)

(10)「教育ある人とは、一生勉強し続ける人」(ドラッカー)

(11)「一生勉強、一生青春」(相田みつを)

(12)「健康第一、心の健康と体の健康をバランスよく」



ご清聴、ありがとうございました。

ご意見、ご感想、コメントのある方は、ご自由にご発言ください。

感謝